

日医発第1381号(介護)

令和4年10月12日

都道府県医師会長 殿

日 本 医 師 会 長

松 本 吉 郎

(公 印 省 略)

「日本地域包括ケア学会 第4回大会」の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記大会を日本地域包括ケア学会との共催で開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。大会当日は、医療・介護関係職種等を対象に、日本地域包括ケア学会の副理事長を務める松田晋哉先生の基調講演のほか、2つのシンポジウムが行われる予定です。

なお、今回も新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン形式での開催となります。お申込み方法等の詳細につきましては、添付の大会チラシまたは学会ホームページをご確認下さい。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、郡市区医師会および会員への周知方につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時：令和5年1月9日（月・祝）13：30～17：20

開 催 形 式：オンライン開催【ZOOM ウェビナー】

プログラム・お申込み方法等：大会チラシまたは学会ホームページをご確認下さい。

日本地域包括ケア学会ホームページ：<http://chiikihokatsucare.com/>

そ の 他：本大会にご参加の先生は日医生涯教育制度 CC(6.12.13)、3単位が取得できます。（※「ZOOM ウェビナー」で当日視聴し、大会後、学会事務局よりお送りするアンケートにご回答ください。大会当日に視聴したログの確認をいたしまして、後日、学会事務局より参加証を郵送いたします。）

以上

第4回大会

日本地域包括 ケア学会

2023/1/9 (Mon)

13:30-17:20
START END

ZOOM オンライン開催

Japan Society of Community Based Integrated Care

改めて医療と介護の連携を考える
～医療から見た介護側の課題、介護から見た医療側の課題～

第4回プログラム

開会セレモニー
(13:30)

基調講演
(13:40)

「地域包括ケアと地域医療構想」

座長 鈴木 邦彦氏 (日本地域包括ケア学会事務局長)
講演 松田 晋哉氏 (日本地域包括ケア学会副理事長)

シンポジウム①
(14:45)

「地域包括ケアの構築に必要な地域医療構想の視点」

座長 田中 滋氏 (日本地域包括ケア学会理事長)
講演 織田 正道氏 (全日本病院協会副会長)
池端 幸彦氏 (福井県医師会長)
小松幹一郎氏 (神奈川県医師会理事)
原 祐一氏 (日本医師会総合政策研究機構副所長)

シンポジウム②
(16:00)

「もうひとつの医療と介護の連携 病院における介護と介護施設における医療について」

座長 中村 秀一氏 (医療介護福祉政策研究フォーラム理事長)
講演 江澤 和彦氏 (日本医師会常任理事)
武久 洋三氏 (日本慢性期医療協会名誉会長)
小泉 立志氏 (全国老人福祉施設協議会副会長)
齋藤 訓子氏 (日本看護協会副会長)

総括 松田 晋哉氏 (日本地域包括ケア学会副理事長)

閉会セレモニー
(17:15)

お問い合わせ

日本地域包括ケア学会運営事務局
医療法人博仁会志村大宮病院内

TEL. 0295-53-2170

●学会参加費：1,000円(手数料・税込)

●本学会は感染症予防、防止のため、ZOOMを使用したオンライン形式となります。
お申込み方法につきましては裏面をご覧ください。

主催：日本地域包括ケア学会 共催：公益社団法人 日本医師会

第4回大会

日本地域包括ケア学会

改めて医療と介護の連携を考える～医療から見た介護側の課題、介護から見た医療側の課題～

2023/1/9 (Mon) 13:30-17:20

お申込み

下記 URL または記載の QR コードからお申込みください。

申込専用 URL

<https://houkatsu-care.peatix.com/view>受付締切は
令和4年
12月28日
です

お申込みは Peatix サイトにて受け付けております。
Peatix でのお申込みには Peatix アカウント登録が
必要になります。また参加費のお支払いはクレジット
カードやコンビニエンスストアでの支払いとなります。
詳細は Peatix サイトにてご確認ください。



基調講演

「地域包括ケアと地域医療構想」

各医療圏において病床機能ごとの需要について推計が示されているが、それをどのように読み解き、地域医療の再編に繋げていくかについては課題が残されている。地域医療のデータ活用をすることでより地域の実態に合った地域包括ケアの構築が可能となる。医療提供体制の将来像の描き方、超高齢社会を支える医療・介護のあり方について、基調講演を通して明らかにしていく。

シンポジウム①

「地域包括ケアの構築に必要な地域医療構想の視点」

地域包括ケアシステムの構築には効率的で質の高い医療提供体制が整備されるとともに、都道府県の医療計画、介護保険事業計画が連動して策定される必要がある。しかし実情として地域包括ケアの構築を見据え、医療だけではなく介護も含めた地域医療構想の議論はされていない。本シンポジウムでは、各職能団体や病院団体の有識者から、地域包括ケアシステムの構築に必要な地域医療構想のあり方や、医療・介護の提供体制はどのようにあるべきかを示唆していただく。

シンポジウム②

「もうひとつの医療と介護の連携
病院における介護と介護施設における医療について」

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、医療機関や介護施設では感染した入院患者や要介護高齢者に追われた。医療機関には基礎疾患をもつ虚弱な高齢者が入院し、新型コロナの治療と同時に介護の提供が必要となっている。また介護施設では感染対策をしながら、軽症患者の治療を求められるようになった。医療と介護が近づいていくとき、病院内での介護、介護施設での医療が課題となる。本シンポジウムでは先進事例を参考に、この課題について検証をしていく。

★本大会は日本医師会生涯教育講座として認定されております。

本大会は日本医師会生涯教育講座として認定されております。日医生涯教育制度 CC (6.12.13)、3単位。

参加証を希望される方は「ZOOM ウェビナー」で当日視聴し、大会後お送りするアンケートにご回答ください。※大会当日に視聴をしたログの確認をいたします。ログの確認ができない場合、恐れ入りますが 参加証の交付はできませんのでご了承ください。後日、事務局より参加証を郵送いたします。

医師以外の職種で受講証明書をご希望の方は、大会視聴後にお送りするアンケートにご回答ください。受講証明書を後日、事務局より郵送いたします。

●学会に関するお問合せ：日本地域包括ケア学会運営事務局 0295-53-2170